

栽培情報 11月号 ～大豆の収穫について～

令和6年 10月30日
JA みづま
久留米普及指導センター

本年産大豆は、播種時期や土壌水分の差、ハスモンヨトウや雑草の発生の差により、成熟期も差が生じることが予想されるため、下記を参考に適切な収穫を行いましょう。

【収穫時期の目安】

目安	方法
カラカラ音	莢を振り「カラカラ」音がするようになってから7～10日後
茎の分離	茎の下部（1～3節の間）を折って分離した日

※収穫は晴れた日の午前10時～午後5時に行いましょう。



【汚損粒の低減対策】

原因	対策
雑草、青立ち株	ホオズキ等の雑草や青立ち株の水分により、収穫した粒が汚れるため、 <u>収穫前の抜き取り</u> を徹底する。
収穫時の土かみ	倒伏ほ場では土かみのリスクが高まるため、丁寧な作業を心がける。土かみが発生した場合は、 <u>速やかにコンバインのエンジン</u> を止めて、清掃する。
大豆の茎の汁	早刈りせず、 <u>適期に収穫</u> する。熟れムラがある場合は、刈り分けなどの対策をとる。

【収穫ロスの低減対策】

倒伏による収穫ロスの低減対策として、リフターキットの装着があります。1条につき2～3本を刈歯前部に装着することで、倒伏した大豆を引き起こし、地際から低い位置で収穫することができます。



⚠ 農作業安全 ⚠

コンバインの操作者・補助員は互いの場所に注意し、事故防止！
ほ場への進入、走行、積み込み時などはバランスに注意し、転倒防止！

